



トーマス・S・モンソン大管長

## 再び大会に集い

福音に対する皆さんの信仰と献身、互いへの愛と関心、……皆さんの奉仕に感謝しています。

この建物を設計したとき、わたしたちはこの会場が満席になることは絶対にならないだろうと思っていました。しかし今、この会場を見てください。

愛する兄弟姉妹の皆さん、末日聖徒イエス・キリスト教会、第181回年次総大会を開会するに当たり、皆さんと再びともに集えるのは素晴らしいことです。

この6か月間は矢のように過ぎ去りました。わたしは多くの責任に多忙を極め

ていました。この期間に頂いた素晴らしい祝福の一つは、ハワイ州ライエの美しい神殿を再奉獻することでした。ハワイ州ライエ神殿は2年近くの間、大規模な改修工事を行っていました。わたしはヘンリー・B・アイリング管長夫妻、クエンティン・L・クック長老夫妻、そしてウィリアム・R・ワーカー長老夫妻を伴って行きました。11月に行われた再奉獻式の前夜は、神殿地区の2,000人の若者がBYUハワイ校のキャン・アクティビティー・センターを



埋め尽くし、出し物を披露してくれました。「集合の地」と題したこの出し物は、地元の教会と神殿の歴史を創造性豊かに、また見事に描いたものでした。この上なく素晴らしい夕べでした。

翌日は3つの部会に分かれて神殿が再奉獻され、霊的に満たされました。主の御霊がわたしたちに豊かに注がれていました。



わたしたちはこれからも神殿を建設し続けます。今朝、新たに3つの神殿の建設計画について発表できることをうれしく思います。現在、用地の買収を行っており、これからの年月をかけて神殿が建設される場所は、コロラド州のフォートコリンズ、アイダホ州のメリディアン、そしてカナダ・マニトバ州のウィニペグです。これらの神殿は、その地域に住む会員にとっ

て祝福となるに違いないでしょう。

毎年、何百万という儀式が神殿で執り行われます。わたしたちがそれらの儀式を自分自身のためだけでなく、世を去った愛する人々のためにも、引き続き忠実に行うことができますように。彼らは自分自身では儀式を受けられないからです。

教会は引き続き災害時の人道支援を提供しています。最近では、日本において

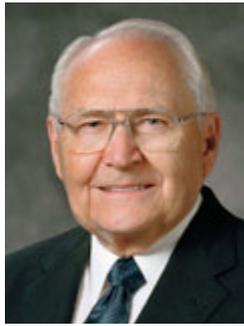
壊滅的な地震と津波が発生し、原子力の問題が起きています。わたしたちは日本の人々を心配し、援助の手を差し伸べています。教会は、食糧、水、毛布、寝具、衛生用品、衣服、燃料を含む、70トン以上の物資を送りました。教会のヤングシングルアダルトたちは自分の時間をささげ、インターネットやソーシャルメディア、そのほかの通信技術を使って会員の安否

を確認しました。会員たちは、車で行くことが困難な地域には、教会が用意したスクーターを使って支援を提供しています。衛生キットや清掃キットを作る奉仕プロジェクトが東京、名古屋、大阪の多くのステークやワードで行われています。これまでに4,000人以上のボランティアによって、4万時間以上の奉仕が行われてきました。日本や助けを必要とする地域に対する支援は今後も継続されます。

兄弟姉妹の皆さん、福音に対する皆さんの信仰と献身、互いへの愛と関心、ワードや支部、ステークや地方部における皆さんの奉仕に感謝しています。また、自分の一と献金を忠実に納め、教会の他の基金へも惜しみなく献金してくれる皆さんに感謝しています。

2010年末現在で、世界中の340の伝道部で5万2,225人の宣教師が奉仕しています。伝道活動は神の王国にとって欠かせないものです。もし可能であれば、教会の中央宣教師基金に献金することを考えるよう提案します。

さて、兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは今日と明日伝えられるメッセージを心待ちにしています。話者は天の助けと導きを求めながらメッセージを用意しました。話に耳を傾け、学ぶときに、主の御霊に満たされ、高められ、靈感を受けることができるようお祈りします。イエス・キリストの御名により、アーメン。■



十二使徒定員会  
L・トム・ペリー長老

## 安息日と聖餐

皆さんが安息日を一日中尊び、その霊的な祝福を1週間を通して経験することにより、家族に愛があふれるようにしてください。

世界中の兄弟姉妹、わたしたちは今朝、預言者の声に耳を傾けるために集まっています。先ほど聞いたトーマス・S・モンソン大管長の声が地上における神の生ける預言者の声であることを証します。モンソン大管長の教えと模範によってわたしたちはどれほど大きな恵みを受けているのでしょうか。

わたしたちは今年、日曜学校で新約聖書から預言者たちの言葉を勉強する機会を得ています。旧約聖書では預言者たちと一つの民について研究しますが、新約聖書はただ一人の御方の生涯とその御方のお与えになった影響が中心となっています。その御方こそ、天と地の二つの市民権を持ってこの世に來られた救い主、贖い主イエス・キリストです。

今日の世の中は人の教えであふれているため、救い主の生涯と教えという何よりも大切な記述である新約聖書を人々は容易に忘れ、信仰を失っています。救い主御自身がわたしたちの生活の中心におられるのと同様に、この神聖な書物は聖文の歴史の中心に位置するものです。わたしたちは新約聖書を研究し、大切にすることを断念を新たにしなければなりません。

新約聖書の研究によって知恵というかけがえのない真珠を見いだすことができます。わたしは、各地を巡って救い主の教会を組織したパウロの物語、特にテモテに与えた教えを読むのが好きです。パ

ウロガテモテにあてた第一の手紙の第4章にはこう記されています。「これらの事を命じ、また教えなさい。あなたは、……言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。」<sup>1</sup> 信者の模範となり、それを続けるために、安息日を守ることに優れた方法を考えることができません。

世界が創造されたときから、ほかの日と区別された一日がありました。「神はその第七日を祝福して、これを聖別された。」<sup>2</sup> 神は自らこの日に働きを休み、わたしたちにも同じようにすることを求めておられます。そして、イスラエルの子らに次の戒めをお与えになりました。

「安息日を覚えて、これを聖とせよ。

六日のあいだ働いてあなたのすべてのわざをせよ。

七日目はあなたの神、主の安息である……。

それで主は安息日を祝福して聖とされた。」<sup>3</sup>

安息日の遵守という規範には、必ず礼拝を含めなければなりません。アダムとエバは死すべき状態になった後、「御父の……独り子の犠牲のひながた」として「主なる彼らの神を礼拝し、主へのささげ物として群れの初子をささげようにと」命じられました。<sup>4</sup> 動物の犠牲は、神の小羊であるイエス・キリストがいつかわたしたちのために御自分を犠牲としてささげら